

財政は好転！ 保育料の値上げは 中止せよ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸)★国分寺まつり問題★で東京弁護士会は「表現の自由の侵害にあたる」として出店を拒否しないよう要望書を提出した。対応を求める。

幸)★市の財政について★基金・積立金は54.4億円に増加し、財政計画の目標も概ね達成した。これ以上「財政が厳しい」と言って、公共施設の有料化や統廃合を進めるのはやめよ。

副市長) 財政は改善傾向にある。しかし、経常収支比率の理想に到達できていないから財政は厳しい。今後も使用料の適正化、公民連携の推進は、行政改革の中で進めていく。

幸) 財政の好転理由は消費税の増税だ。社会保障の4経費に充てるべき。負担を押しつけるな。

幸)★保育料について★財政は厳しい状況から脱している。しかも多子世帯は低所得世帯やひとり親世帯と並んで支援しなければならない。子育て支援に逆行する保育料値上げは中止を。

部長) (諮問機関の) 検討委員会へ情報提供に不足があった。反省し、今議会の提案は見送る。

幸)★通級学級について★特別支援教室がすべての小学校に整備されることは意義がある。しかし、児童と保護者の不安も大きい。指導時間や教員配置、教室の規模など、現在の水準を後退させない基本計画と予算を示すべきだ。

教育長) 工夫をしながら実践する。一人一人のお子さんに「前の方がよかった」といわれることのないよう、様々な努力をして準備したい。

幸)★ぶんバスについて★万葉・けやきルート¹の運行開始を高く評価する。ただ、せめて東恋ヶ窪の国分寺病院まではルートの拡充を。

部長) 当該地域へのぶんバスの走行は困難な状況だ。しかし、これが完全な形ではない。

新たな情報発信と ダイナミックなまちづくり



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

【デジタルサイネージ(電子看板)活用】

尾澤⇒市報やホームページを使った情報(選挙啓発、説明会、イベント告知、災害時の緊急情報等々)の発信はこれ以上期待できない。前にも提案したが、国分寺駅北口ロータリーなどの人が多く集まる場所に電子看板を設置(大型もしくは小型のものを複数)できないか？

答弁⇒再開発に関する箇所では関係権利者間での調整でなるべくシンプルな壁面と多くの緑化をしていくという方向性をもっており壁面に大型電子看板を設置するのは難しい状況です。

尾澤⇒電子看板はすぐに表示内容を変更でき、新しい情報を効果的に発信できる。時代に沿った情報発信の形に今後、改めていくべきである。

【特区制度を活用したまちづくり】

尾澤⇒本市も特色あるまちへと戦略的に変わっていかねばならない。様々な特区制度(まちづくりや観光、農業分野、道路イベント等の規制緩和)がある、庁内での検討を求める。

答弁⇒これまで特区制度活用の検討には至っていない。今後、可能性について具体的な調査研究を進めていく。

【まちなかスタジアム】

尾澤⇒スポーツ施設を含めた公共施設全体を整備していく上で、多機能・複合型の多目的スタジアム(各種イベント、スポーツ等開催可能なもの)を整備していくことがまちの賑わいや新たな産業の創出、地域コミュニティや健康に繋がると考える。

答弁⇒スポーツ施設を整備する上で多機能・複合型にして進めていくことは必要であり、まちなかスタジアムの視点を持って考えていきます。

長期的視点で一層の コスト感覚や財源創出を



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村=財政再建が進む一方、今後の公共施設等の更新だけでも単年度でこれまでの年14億円が34億円になり、年間でも20億円の負担増になる。引き続きの厳しい財政改革を。

政策部長=最少の経費で最大の効果を上げると共に予算編成もゼロベースで判断していき、新たな財源も確保していく方針で今後も取り組む。

木村=8ヵ年の新長期計画の「国分寺市ビジョン」が来年度から始まるが計画開始の3か月後が市長任期だ。市長が選挙で公約した政策を反映できるように第一期は6年計画にすべきだ。

市長=市長の選挙公約は実行計画で反映させる。

木村=庁舎建て替えについて、氷見市役所などは廃校になった高校の体育館等を市役所に転用し、19億円で済んだ。一方国分寺市役所は70億円とも試算されており、氷見市を参考にし、市内でほとんど利用されていない総務省施設を譲り受ければ数十億円の経費節減が見込める。

行革担当部長=そのような視点は非常に重要だ。当該施設の規模や施設状況を調査していく。

木村=今年度は部長職13名中3名が定年退職する。北口再開発を所管する都市開発部を統廃合する等、組織改革につなげるべきだ。

総務部長=庁内の機構改革検討委員会で部の統合を検討して来年度の組織・人事を固めていく。

木村=現在の市のイメージキャラクターはお金をほとんど生み出せず、逆に著作権が市には無く、使用料などの支出が生じている。今年度で使用権の契約期間満了となるが、市民公募や投票で公式キャラクターを決めてはどうか。

政策部長=公式キャラクターについては市民公募の方向で検討を進める。

甲斐よしと議員が 代表者会議で謝罪

9月7日開催の代表者会議で甲斐よしと議員が、一連の騒動に関して謝罪しました。謝罪の内容は以下のとおりです。

「私、甲斐よしとは、5月9日の議会運営委員会の開催を失念して、連絡をせず欠席してしまったことをお詫びする場が6月1日の本会議冒頭あったにもかかわらず、前夜寝付けないため、12時ごろから1時ごろまで飲酒

をしてしまいました。

翌朝、アルコールが残っている認識があったので、自動車で登庁致しました。その際、私が2月より自ら庁内機器を借りて行っていた簡易アルコール検査にて、0.15mgの反応がありました。これにより、議会の品位を失墜させ、結果的に法令順守の立場を汚してしまいました。このことにつきまして、関係各位、並びに市民の皆様へ深くお詫びをいたします。

私は、6月1日以来飲酒はしておりません。その姿勢で任を遂行させていただきます。運転免許に関しては、現在病状により停止の手

続き書類を関係機関に提出しているところがあります。体調が万全となるまで運転は致しません。また、会議規則を順守し、議会日時を厳守してまいります。

今後は、市議会議員として議会の品位を汚さぬよう、市民自治と市政発展のために努力してまいります。

なお、再びこのような事態を起こした場合には、市議会が決定したいかなる処分にも従うことをお誓いし、謝罪といたします。」

平成28年9月7日

国分寺市議会議員 甲斐よしと

一般会計決算議案に対する討論の要旨

9月30日の本会議で平成27年度一般会計決算議案に対する表決に先立ち、各党派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各党派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番に掲載しています。

賛成討論

市民のための行財政改革を さらに推進!



自民党国分寺市議団(所属6名) 尾作 義明

本決算は、平成26年度に続き、井澤市長の2度目の予算に対する決算でした。これは、ゼロベース部局積み上げ予算の結果に対し可否が問われた決算審査でした。監査委員からの意見書

からは財政の健全化、事務執行の適正化が進み、行財政改革の進展が何え高く評価いたします。一部の不備には、さらなる改善を求めます。

また、財政状況については、経常収支比率、公債費比率、財政力指数など改善傾向にあり、更なる財政健全化に期待をいたします。

内容では単年度収支で約6億円の黒字、基金積立は48億円超となり景気の緩やかな回復基調を受けて財政も回復基調を続けています。これを受けて未来へ向けた投資的経費として民設民営保育所整備事業、消防署整備事業、史跡武蔵国分寺跡公園用地買収などが行えました。これ

らの先行投資は確実に未来の負担軽減、市民サービスの向上へ繋がるものと確信いたします。そして国分寺駅北口再開発事業完了後はその効果が期待されます。

一見、順調な財政回復に見えますが、今後も扶助費の増加、清掃施設整備、民設民営保育所整備・運営、下水道の老朽化、公共施設の更新対応が予想され、各指標の悪化も考えられます。

しかしながら、最大の目標は指数の追及でなく市民サービス、市民福祉の向上です。常にこれを目標に、さらに市民からの信頼を得られますことに期待を込め賛成の討論といたします。